

(4) 学習指導過程

① 本時のねらい

記号とはどういうものか読みとらせる。

- 記号とはどういうものか、まとめて説明してある文が書き出せる。
- 接続語と指示語が指摘できる。

② 学習指導過程

| 段階 | 学習活動・内容 | 時間 | 主な発問・指示 | 指導上の留意点 |
|-------------|---|----|--|---|
| 意識化 | 1. 前時の学習を想起し、既習内容を確認する。 2. 本時のめあてを確認する。 | 2 | 1. 前時では文章をいくつに分けたか。 2. きょうの学習のめあては何か。 | |
| 焦点化 | 3. 学習方法について話し合う。 4. 中心文を予想する。 (1) ひとりで調べる。 (2) みんなで話し合う。 | 5 | 3. どんなところに気をつけて読みとっていけばよいか。 4. 記号についてまとめていつている文はどれか。 | ○学習範囲を確かめさせる。 ●「中心文」「要点文」などのことばは使わないようにする。 ●「文」の意味を確認しておく。 |
| 具 体 化 | 5. 段落ごとにくわしく調べる。 ○各段落の概略。 ○第1・第2段落と「記号の意味」との関係。 (1) 第1段落を読みとる。 ○「その人に教えます」の分析。 ○中心語句。 さしたり、言ったり | 6 | 5. それぞれの段落には、どんなことが書いてあるか。 6. 記号に関係のない図書室のことなどなぜ話すのか。 | ○書かれている事柄を簡明に答えさせる。 ●具体例とまとめ（要点）の関係に気づかせる。 |
| | (2) 第2段落を読みとる。 ○第1段落とのちがいを。 ○中心語句 はり紙 やじるし | 6 | 7. その人とはだれか。 8. その人に教えるのはだれか。 9. その人に何を教えるのか。 10. その人にどんなやり方で教えるか。 | ●指示語の指示内容を確認させる。 ●「主語」の確認である。 ●「中心語句」であることに気づかせる。 |
| | (3) 第3段落を読みとる。 ○「記号」の定義 ○「このように」の指示内容 ○中心文 | 7 | 11. 図書室のあり場所を教えるのに第1段落とどんなところがちがうか。 12. 第2段落の大事なことは何か。 13. 「やじるし」は何を表すか。 | ●「けれども」に注意させ ^① と対比している点を見つけてさせるようにする。 ○ ^① の「さしたり言ったり」に代わるものであることをわからせる。 ●「つまり」のはたらきに気づかせる |
| | | 7 | 14. 記号とはどういうものか。 15. 「このように」は何をさしているか。 16. 第3段落は、第1、第2段落とどんな関係になっているか。 | ●「このように」はそれまでのことをまとめるはたらきをていることから中心文に使われることが多いことを知らせる |
| 統 化 | 6. 学習したことをまとめる。 (1) 指名読をする。 (2) 学習したことをまとめる。 ○大事なことば ○中心文と例文 | 5 | 17. どれが大事なことばか、どのようにして選び出すか。 18. 中心文とはどんなものか、どのようにしてみつけるか。 | ○大事なことばを強調して読ませる。 ●くり返し出てくること、題目に関係が深いことに気づかせる ●例をあげている文ではなくまとめている文であり段落のはじめや終わりに多いことを知らせる。 |
| 生 活 化 | 7. 次時の学習について話し合う。 ○次時のねらい。 | 2 | | |